

田中復興大臣記者会見録

(令和2年1月27日(月) 於) 東京ロイヤルパークホテル)

1. 発言要旨

皆さん、こんばんは。「復興五輪」がいよいよ近づいてきました。この時期に「ふくしまプライド。食材博～食の交流会～」の催しへ、皆様方、大変関心を寄せていただいたことは、素晴らしいことだと思っております。

今日は、福島県の農林水産物のさらなる販売拡大に向けて、大変多くの生産団体の方々や流通業者などの関係の方々、また、本イベントに参加されて新しく福島を知っていただいた皆様の姿を見て、福島の復興につながるという思いを強くしたところでございます。

また、「GAP (Good Agricultural Practice: 農業生産工程管理)」の取り組みというか、熱い思いを福島県立岩瀬農業高校の若い皆さんに語っていただいております、大変感動いたしました。

安全・安心な農作物の生産に向けた取り組みや、本日参加していただいた方々の取り組みと、我々政府の施策が相まって、今後、福島県の農林水産物を1人でも多くの方々に消費していただくように、知っていただく、食べていただく、そして、福島に行ってください、このあたりのことを「復興五輪」とあわせて、風評払拭もそうですけれど、ぜひ我々も内外に力を精一杯示していきたいと思っております。

以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 先ほど知事からも、政府と連携して風評払拭に努めたいという御発言がありまして、大臣もかねがねおっしゃっていますが、国内対策に関してはこのように催しをやればよろしいかと思うのですが、海外に向けての対策について、何か考えていることがあったらお聞かせください。

(答) 海外のほうは今、一生懸命、各方面に向けて動きを強めております。

以前より、東南アジアという話をしてきましたけれど、できれば東南アジアの中心的な国家であり街であります、シンガポールあたりをターゲットにしてみたいと思います。また、タイだとか。

本当のことを言うと、中国のほうがうまく進むと、香港というのはすごく魅力的な地域なんです。香港の取り扱い量はすごく大きいものですから、逆に言うと香港で成功しないと、なかなか

中国系の、アジア系の流れが出てこないのです。

そのようなことも努力していきたいと思っておりますが、まだ具体的なお話をする段階ではないのですけれど、国会中にしっかりと仕込んで、できれば国会の合間にでもという思いがございます。

またそのあたり、一つ皆さんのほうも御協力いただきたいと思います。

(問) 今日、イベントでは首都圏を中心とした流通・販売業の方、200人以上いらっしゃっていると伺っております。

大臣も首都圏選出のお立場として、福島県の食の魅力はどういったところとお考えか、また、首都圏の方にどういった部分をお伝えしたいか、お願いいたします。

(答) 福島県というのはずっと長い間、海のものも農地からとれる米を初め、野菜類も山のものも、すごくおいしい食材の宝庫なんですよね。

私は福島県のは以前からたくさん食べてきたのですが、今回、改めてこういう立場になって食べて、本当においしいと思っています。

今日も、実は私の地元の川崎市中原区のブレーメン通りの伊藤博神奈川県商店街振興組合連合会理事長さん初め、見えているのです。私もここに来て知ったのですが。それから、また、横須賀の業者の方にもお目にかかりましたし、私ども神奈川県の方々も多数見えていまして、ぜひ多くの県民の皆様に福島県の応援をしていただきたいと思います。

ありがとうございました。

(以 上)